

平成29年5月30日

報道関係各位

宮中献穀米を奉耕、はじめの一步

このたび、宮中行事である「新嘗祭」に献穀する新穀を加津佐町津波見地区で奉耕し、市として初めて献上します。

この行事は、明治25年から始まり、全国各都道府県の農家代表が新穀を宮中に献上することが伝統として行われており、今回、長崎県で本市が推薦されたものです。

その第一歩として、下記にて「斎田清祓」並びに「播種祭」を実施いたします。


当日は、旧津波見小学校体育館前に宮中献穀南島原市奉賛会や献穀田奉仕実行委員会の関係者が集って神事を行い奉耕田を清めたのち、新穀の種蒔きを実施します。

記

日 時 6月1日(木) 午前10時

場 所 加津佐町津波見地区奉耕田
(旧津波見小学校体育館前)

主 催 宮中献穀南島原市奉賛会

担当部署	農林水産部農林課	担当者	大平 康共
直 通	0957-73-6661	E mail	nousan@city.minamishimabara.lg.jp
詳しくは 		検索ワード	
担当者 連絡先			